

「十一條の生活」



私たちは真の父母様と出会い、生きて再臨のメシヤと共にこの時代を居合わせています。そして真の父母様の価値を知り、共にみ旨を歩んでおります。神様の為に働いている価値、祝福を通して真の父母様の息子娘となった恩恵に心から感謝を捧げながら、ご父母様の悲願であるお父様100歳の時までの7年間で神の国を建てていきましょう。

喜びと幸せを伝達するのが伝道であります。お母様のみ言では“一人が一日に一人伝道するのです。一日に一人の命を神の下に返していくのです。そのような決心でいかなければ神の国は建てられません”と語られています。聖和式一周年(8月23日(天曆7月17日))までの100日間の精誠が出發しています。この期間に3人を伝道して1人を祝福に導く愛の精誠を捧げていきましょう。そして、お母様が願われる復帰の道を開いていきましょう。

説教の題目である十一條の生活は、信仰の本質であり、神様が祝福する基台であります。神様が与えたいのは、三大祝福であります。どのような神の摂理がきたとしても、息子娘として祝福を与えたいのが父母なる神様であります。ヤコブは、サタン屈服の典型路程を歩みました。ヤコブがベテルで神様と出会い、礼拝を捧げ、十一條を捧げてきました。これは神様の祝福の種であり、これを守ることを通して神様が祝福をしていかれるのであります。天的な義務です。ですから十一條は最初から神様のものであり、自分の物だと思ふ所有觀念にサタンが入るのです。神様の物を自分の物として取り扱うことが罪であります。そこを分離することで私がサタンと分離されて神様が働くことが出来るようになります。大母様も、基元節後は原理的に生きることで福を受けると言われました。原理的に生きることは、真の父母様に侍る忠孝の生活であります。十一條の生活を守っていくことを通して神霊が守られ、家庭の愛が守られ、天が導く基台になっていくのであります。難しい艱難・苦痛・病苦には、むしろ十分の一条をもっとしなければなりません。

十分の一条を神様の倉庫に持ってこないのは、神様を無視する行為だと見ることができます。神様は所得の10%すなわち十分の一条を要求されます。そして必ず取ろうとされます。悟った人がしない場合に、神様は手段と方法をすべて動員して、神様のものを奪い取っていかれます。その時に人間は、苦痛・困難にあうのです。原理原則とおりに生活しない食口には、持続的な物質の祝福がありません。万一あったとしても少しの間であり、砂上の楼閣です。豊かであるか、貧しいかが問題ではなく、信仰と確信が問題です。

十分の一条は、神様の民の義務と祝福の基台だという信仰において、神様の恩恵に対する楽しい自発的な感謝の表現です。神様の恩恵に対する借りを楽しく返すのです。私が願って受けるのではなく、神様が下さりたい物をすでに受けました恩恵に感謝して、楽しく自ら捧げなければなりません。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、2013年伝道勝利のための「第2次50日路程」が行われています。
期間:2013年5月13日(月)~7月1日(月)【50日間】
スローガン:「新氏族メシヤ活動の定着と爆発的伝道」
- 3、真の父母様聖和一周年記念100日精誠祈禱会が行われています。
期間:天曆4/7~7/17(陽曆5/16~8/23) 21:00~22:30
担当区域:火曜日 心情・亀岡 水曜日 解放・勝利
木曜日 忠孝・栄光 土曜日 壮年
- 4、第9地区6月度出発決断式
日時:6月2日(日) 19:00~ 場所:大阪教会
- 5、第51回真の万物の日
日時:6月9日(日) 7:00~ 場所:京都教会
- 6、伝道3日路程
6月11日(火)~13日(木) 全食口同参
- 7、日本文化講演会
日時:6月12日(水) 10:30~
場所:サン・アカデミー京都
- 8、女性のための理想家庭講座
日時:6月14日(金) 10:30~15:00
場所:京都教会
- 9、カップルセミナー
日時:6月15日(土) 10:30~16:00
- 10、京都を愛する書写の会
日時:6月18日(火) 10:30~ 場所:京都教会
- 11、祝福パネル展
6月18日(火)~6月20日(木) 場所:京都教会
- 12、京都教区祝福式
日時:6月23日(日) 14:00~ 場所:京都教会
- 13、京都府有識者・議員「安全保障」セミナー
日時:6月23日(日) 14:00~16:00 (13:30受付)
- 14、京都セミナー(二日修練会)
日程:6月8日(土)・9日(日)、6月22日(土)・23日(日)
場所:サン・アカデミー京都
【1日目】13:30~20:00 (13:00受付)
【2日目】10:00~16:00 (9:30受付)
- 15、しあわせ講演会
毎週金曜日 14:00~ 場所:サン・アカデミー京都
- 16、教区全体特別精誠祈禱会
毎週金曜日 21:00~
- 17、神様摂理史の責任分担解放圏完成宣布教育
日程:6/14(金)午後4時~6/18(火)正午
- 18、清平修練会
6/7(金)~6/9(日)、6/15(土)~6/17(月)

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel: 075-313-0539 / Fax: 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP: <http://www.uckyoto.org/>

式次第



司会者：佐々木大作

開 会	……………	司会者
黙 禱	……………	全 体
※開会讃頌	…………… 聖歌 3 番 ……………	全 体
※敬 拝	……………	全 体
※家庭盟誓	……………	全 体
代表祈祷	……………	
讃 頌	……………	聖歌隊
み言訓読	……………	全 体
映 像	『最新の摂理の動向と 私たちの行くべき方向』 徳野英治 会長	
※讃 頌	…………… 聖歌 23 番 ……………	全 体
※祝 禱		
※全体祈祷	……………	全 体
教会音信	……………	司会者
閉 会	……………	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ』

今週のみ言

み旨が成された結果とは、どのようなものでしょうか。それは、この世界の万民が救われ、神様が彼らすべてを子女として主管できるようになるということです。そのようになることを願うのが摂理のみ旨です。もし、地上で国家を復帰することを自分の生涯で果たせずに死ぬ場合、皆さんは、霊界に行っても、天国に属した真の人としての価値をもてないのです。地上において、神様の主管圏内で統治された国家圏での実績をもって、霊界に行かなければならないというのです。それは、それが本来の神様の創造基準だからです。

私は今、世の中にうらやむものはありません。墮落した世のものには関心がない人です。「神様が保護できる理想の国で死ななければならないのではないのか。私ができるように生きていくことができなければ、私の生涯は悲惨な生涯ではないか。だから死ぬ前にその国を取り戻して、一日でもそこで暮らしてから逝かなければならない」というのが、私の一生の願いです。

その一日のためなら、墮落した世の中で過ごす数千日を犠牲にして、投入しようという心で歩んでいるのです。何も知らない皆さんが休んでも、私は歩んでいます。皆さんができなければ、外国の人を動かしてでもしなければならず、この国ができなければ、外国を通じて包囲作戦をしてでも行かなければならない道です。

(「氏族的メシヤと天一国創建」より)



統一運動

『第31回全日本聖和祝祭』を開催

天曆4月17日(陽曆5月26日)、群馬県片品村にある尾瀬霊園において、「第31回 全日本聖和祝祭」が執り行われ、日本全国から約1900名が集まりました。全国の教会でもインターネット中継を通じて、多くの教会員が式典に参加しました。

第一部のエンターテインメントでは、祝福二世によるユニット「AVANTI」がフルートとバイオリンを演奏、「誠愛鮮鶴合唱団」は美しい歌声を会場全体に響かせました。

佐野邦雄総務局長の司会により始まった第二部の聖和祝祭では、全体で黙禱を捧げた後、都恵子さん(777双)の代表報告祈祷、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長と徳野英治・日本統一教会会長夫妻による献花がありました。

続いて戸丸廣安・尾瀬霊園園長から年次報告があり、尾瀬霊園をはじめとした霊園入園者の名前が読み上げられました。

主礼の徳野会長による説教では、まず聖和した教会員らに感謝と慰労の拍手を促しました。また、「お母様(韓鶴子総裁)の願いは何であるか?」と問いかけながら、「伝統の確立」と「再臨のメシヤ到来の宣布」の2点を強調し、「爆発的な伝道を展開していきましょう!」と強く訴えました。

宋総会長はメッセージの中で、「(現在は)摂理の春です。私たちは新しく出発しなければならないのです」と述べ、訓読生活の重要性などについても強調しました。

遺族代表らによる献花の後、横井勉・聖和家庭会理事長が遺族を代表して感謝の言葉を述べ、今回の祝祭を開催するに当たり、多くの教会員による準備と苦労があったことを証言。最後に徳野会長が祝禱、南呉僑・第4地区長の億万歳四唱で式典は閉会となりました。

